

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2025年12月分)

2025年12月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BHジャーナリスト協会による上級代表宛書簡の送付\(1日\)](#)

●[和平履行評議会運営委員会\(PIC・SB\)政務局長会合\(2～3日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[当地米国大使館とBH連邦連立与党党首との南部相互接続に関する会合\(23日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[BH憲法裁判所によるRS政治団体資金法に対する暫定措置\(9日\)](#)

●[CECによる前倒しRS大統領選の結果確定及び異議申立ての却下\(15日\)](#)

●[前倒しRS大統領選の一部投票所における結果の無効及び再選挙の実施に関するCEC決定\(24日\)](#)

●[プラヌシャ氏\(RS大統領候補\)、セルビア民主党\(SDS\)党首に就任\(28日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[コムシッチBH大統領評議会議長のEU・西バルカン諸国首脳会議への参加\(17日\)](#)

(2) 二国間関係

●[プレコビッチ・クロアチア首相のバニャ・ルカ訪問\(11日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[2025年BH外交団バザー参加\(6日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

●[サラエボ―ベオグラード高速鉄道・建設プロジェクトに関する動向\(17日\)](#)

(3) 経済協力

●[欧州投資銀行\(EIB\)、BH連邦に対するコルドー5C建設のための融資停止\(22日\)](#)

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BHジャーナリスト協会による上級代表宛書簡の送付(1日)

1日、BHジャーナリスト協会は、シュミット上級代表に対し、財政難及び資金調達に送る政治的障害により、BH国営放送(BHRT)が直面している深刻な状況について緊急の対応を求める書簡を送付した。同書簡では、同サービスが財政破綻の状況にあり、700人以上の職員が失職や業務停止の危機に瀕している窮状を訴えている。

●和平履行評議会運営委員会(PIC・SB)政務局長会合(2～3日)

2日～3日、PIC・SB政務局長会合が、BH議会及びOHRにて開催され、BH下院議員の各党派代表等が出席した。同会合後の共同声明では、過去30年間の Dayton 和平合意及びPICによる活動の成果を振り返りつつ、すべてのBH国民に向けて、EU加盟等の機会に向け、互いに譲歩し、共に繁栄していくための安定した未来を築くよう呼びかけた。

●コバチェビッチ氏のBH大統領評議会クロアチア系メンバー選挙への出馬決定(14日)

14日、コムシッチ民主戦線(DF)党首は、2026年のBH総選挙において、二期連続で務めた自身に代わり、コバチェビッチ氏がBH大統領評議会クロアチア系メンバー候補として出馬することを決定した。

●ブカノビッチZPR党首のBH大統領評議会セルビア系メンバーへの出馬表明(22日)

22日、ブカノビッチ「正義と秩序のために」(ZPR)党首は、2026年のBH総選挙において、BH大統領評議会セルビア系メンバー候補として出馬することを表明した。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●当地米国大使館とBH連邦連立与党党首との南部相互接続に関する会合(23日)

23日、ギンケル当地米臨時代理大使は、BH連邦の連立与党党首を招き、当地米大使館において、南部相互接続に関する会合を開催し、ニクシッチSDP党首、チョービッチHDZ党首、コナコビッチNiP党首、チューディッチNS党首、フォルト前NS党首等が出席した。

イ スルプスカ共和国(RS)

●BH憲法裁判所によるRS政治団体資金法に対する暫定措置(9日)

9日、BH憲法裁判所は、ババリBH下院第一副議長(SDS)の申立を受理し、本年5月21日にRS国民議会により採択されたRS政治団体資金法(注:同年4月の上級代表決定によるSNSD及び統一スルプスカ(US)に対する政党助成金停止の措置を受け、RS国民議会がRS内の全ての政党への政党助成金を廃止し、政治団体の会費及び関連利益等以外の資金調達を不可能にしたRS法)を一時的に無効とする旨を決定した。

●CECによる前倒しRS大統領選の結果確定及び異議申立ての却下(15日)

15日、BH中央選挙管理委員会(CEC)は、11月23日の前倒しRS大統領選の選挙結果を確定したのち、SDS側から提出された異議について却下した。総投票数は、449,376票(そのうち、8454票は無効票)となり、投票率は35.54%となった。RS与党候補のシニシャ・カラン(SNSD)は、222,182票(50.39%)。RS野党候補のブランコ・ブラヌシャ(SDS)は、212,605票(48.22%)を獲得した。その後、CECは、選挙結果確定後における異議申し立てを受付けたが、SDSによる

140の投票所での再集計請求は根拠を欠き、これらの投票所での選挙を無効とする請求も不適格であるとして却下した。

●前倒しRS大統領選の一部投票所における結果の無効及び再選挙の実施に関するCEC決定(24日)

24日、BH中央選挙管理委員会(CEC)は、11月23日に実施された前倒しRS大統領選に関し、17選挙区の計136投票所での確定結果を無効とし、これについて再選挙の実施を決定した。CECは、今回の大統領選では、多くの不正行為があり、選挙プロセスの公正性を守るために、選挙を無効とする必要があると説明した。今回の決定では、プライェドル、ラクタシ、バニャ・ルカ、スタナリ、ズボルニク、ブラセニツァ、プラトゥナツ、ネベシニェ、ガツコ、ルド、ビレチャ及びミリチ等においての一部の投票所の結果が無効とされた。

●ブラヌシャ氏(RS大統領候補)、セルビア民主党(SDS)党首に就任(28日)

28日、RS野党・セルビア民主党(SDS)の党内会合が、バニャ・ルカで開催され、ブラヌシャRS大統領候補を新党首として全会一致で選出した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●コムシッチBH大統領評議会議長のEU・西バルカン諸国首脳会議への参加(17日)

17日、コムシッチBH大統領評議会議長は、ベルギー・ブリュッセルを訪問し、コスタ欧州理事会議長及びフォン・デア・ライエンEU欧州委員会委員長等も出席するEU・西バルカン諸国首脳会議に参加し、演説した。コムシッチ議長は、BH閣僚評議会が、民族間の権力構造

をめぐる絶え間ない政治闘争により、BH裁判所法、高等司法検察評議会(HJPC)法及び首席交渉官事務所の設置等の提案が採択できなかったことは、悲しい失敗であるとした一方、BHがEUROJUST及びFRONTEXとの協定を批准したこと、BH個人情報保護法及びBH国境管理法が必要条件を満たすよう改正されたこと、西バルカン成長計画を実施可能にするための改革アジェンダも土壇場で採択されたことは評価できると語った。

(2) 二国間関係

●フレミング米国務省欧州・ユーラシア局長のBH訪問(1日～3日)

1日より、米国務省のフレミング欧州・ユーラシア局長が、PIC政務局長会合への参加に向け、BHを訪問し、トリシッチ＝バビッチRS大統領代行、コナコビッチBH外務大臣、クリシュトBH閣僚評議会議長、ニクシッチBH連邦首相及びチョービッチHDZ党首等と会談した。同局長は、RS政府との建設的な議論を歓迎する一方、BH連邦側に対しては、南部相互接続プロジェクト実現に向け、EU及びブルガリア等の政策決定に連動し、ロシアに対するガス依存から脱する必要性に言及しながら、各当事者に向け、個別的な働きかけを行った。

●アッシャイバーニー・シリア外務大臣との会談(7日)

7日、コナコビッチBH外務大臣は、ドーハ・フォーラムに出席するためにカタールを訪問した際に、アッシャイバーニー・シリア外務大臣と会談した。「ア」大臣は、シリアにおける戦後の人道的活動、移行期正義プロセス、避難民の帰還及び経済復興に向け、取り組んでいるさなかであることを概括し、国際社会の協力の下、市民との信頼醸成及び安定の確保を行いたい旨を強調。一方、「コ」大臣は、BHの戦後

の経験から、上記の課題や、安定の重要性及び長期的な安全及び発展に向けた経済強化の必要性を理解していると強調した。

●プレンコビッチ・クロアチア首相のバニャ・ルカ訪問(11日)

11日、プレンコビッチ・クロアチア首相は、バニャ・ルカ司教と面会するために、RSの首都バニャ・ルカを訪問したところ、BH側からは、クリシュトBH閣僚評議会議長、チョービッチHDZ党首、トリシッチ＝バビッチRS大統領代行、ミニッチRS「首相」、ドディック前RS大統領、スタニボビッチ・バニャ・ルカ市長等が出迎えた。なお、「プ」首相の訪問目的には、BH－クロアチア間のグラディシュカ国境(RS)の開通式典が含まれていたが、BH間接税庁(ITA)理事会において、同検問所の運用開始の前提条件となっていた業務体系化ルールブック改正の意思決定が間に合わず、同式典の開催は中止となった。

(3)日・BH関係

●2025年BH外交団バザー参加(6日)

6日、当館は、2025年BH外交団バザーに参加。日本文化に関連する商品販売、書道・着物体験コーナー、お寿司の販売を行い、現地住民を中心に多くの人々が訪れた。本バザーでの売上は主催団体の支援する団体に対し、寄付された。



(写真:当日の様子)

3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●工業生産指数

2025年11月の産業生産指数は、季節調整後数値で前月比3.5%マイナス。前年同月比4.2%マイナス。

●雇用／失業率

2025年11月の失業者登録数は31万4870人(うち女性18万7863人)で、前月比では0.2%マイナス、前年同月比で2.2%マイナス。

●平均給与

2025年10月の平均給与(手取り)は1,605KMで、前月比で名目賃金は1.3%プラス、実質賃金は0.9%プラス。前年同月比で名目賃金は13.4%プラス、実質賃金は8.8%プラス。

●消費者物価指数

2025年11月の消費者物価指数は前月比0.5%プラス。前年同月比で平均4.4%プラス。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.1%のマイナス。

●貿易収支

2025年12月時点でのBHからの輸出総額は169.74億KM(前年同期比5.6%増)、BHへの輸入総額は299.54億KM(前年同期比4.5%増)。貿易収支(累積)は129.80億KMの赤字。

(2)経済政策・公共事業

●サラエボ－ベオグラード高速鉄道・建設プロジェクトに関する動向(17日)

17日、フォルトBH運輸・通信大臣は、サラエボを訪問したソフロニエビッチ・セルビア建設・運輸・インフラ大臣と会談し、サラエボ－ベオグラード間的高速鉄道建設プロジェクトに関し、議論した。会談後、フォルト大臣は、パレを経由し、ベオグラードまで至る高速道路に向

けた準備と建設を加速させたいと考えていると語った。

(3) 経済協力

● 欧州投資銀行(EIB)、BH連邦に対するコリドー5C建設のための融資停止(22日)

22日、欧州投資銀行(EIB)は、コリドー5C建設を目的としたBH連邦高速道路への融資を停止した。EIBはその理由として、特定区間における禁止行為の可能性について調査を開始したためと説明。BH管轄当局及び欧州検察庁(EPPO)の発表によると、入札に関する不正操作の疑いで、BH連邦側の3名の従業員を捜査対象としていることが明らかにされた。